



## 平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	2-2-3		事業名	団塊の世代及び女性の起業支援事業		
達成目標の状況						
項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (実績)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)
団塊の世代、女性に特化した起業セミナーの開催回数(累計)	2回	2回	25回	48回	51回	26回
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)						
<p>■市民との連携、市民参加 セミナー・起業道場の受講を募るべく広く団塊の世代及び女性の市民に公募することで、市民参画に貢献している。</p> <p>■企業等との連携・協働 [資金協力]創業の際は、各種制度により資金サポートを実施している。 [人材協力]起業道場においては、講師などが伴走しながら、起業に関する知識・スキルを指導している。 [情報協力]セミナー・起業道場において起業に関する情報を提供している。 [その他の協力](該当なし)</p> <p>■市民・企業等が参加しやすい環境づくり セミナーについては、ホームページから受講申し込みができるように工夫しているほか、チラシや広報さっぽろへの掲載など、各種媒体を通じて広く受講者を公募することで、市民が参加しやすい環境づくりを実施している。</p>						
評価(成果)			課題			
<p>平成21年度は、計26回の「起業家セミナー(うち女性・シニアに特化したセミナーは20回)」及び3期におよぶ「女性・シニアのための起業道場」を実施し、女性176人、シニア28人の受講者に対し、様々な起業に関する情報提供をすることができた。</p> <p>特に、少人数制により、講師・コーディネーターが伴走する「女性・シニアのための起業道場」では、受講終了後も、創業計画や資金面など、受講者からの様々な相談を受け付けるとともに、きめ細かな支援を行った。その結果、平成21年度の起業道場受講者のうち、6人(女性5人、シニア1人)が実際の起業に結びついた。</p>			<p>引き続き、受講者に対し、セミナーや起業道場の修了後も継続的な情報提供やアドバイスを行い、創業へ向けて支援を行っていく必要がある。また、より多くの受講者がセミナー、起業道場を受講するためのPR手法に検討を要する。</p>			
今後の事業の予定・方向						
<p>廃業率が開業率を上回り、事業所数が減少傾向にある札幌市において、創業が活発になることにより、企業間の競争が活性化し、札幌の産業全体も活性化するなど、高い波及効果を及ぼすと考えられる。起業を考えた時のいわば「入り口」であるセミナー等、本事業の充実はもちろん、創業アドバイス、創業支援資金など融資、そして、官民含めた創業支援施設(インキュベーション施設、レンタルオフィス)などを幅広く周知し、起業を検討してから、起業に至り、実際に成功するまでの一貫したフォローアップ体制を確立していく必要がある。その中でも、潜在的な労働力が高いと考えられる女性、シニア層に対し、引き続き重点的な創業支援を行っていく。</p>						

## 平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード		2-2-3			事業名	団塊の世代及び女性の起業支援事業				
事業費の推移										
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計				
計画	事業費	0	5,000	5,000	5,000	15,000				
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0	0			
		市の債	0	0	0	0	0			
		その他	0	0	0	0	0			
		一般財源	0	5,000	5,000	5,000	15,000			
予算	事業費	0	6,000	5,900	4,300	16,200				
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0	0			
		市の債	0	0	0	0	0			
		その他	0	0	0	0	0			
		一般財源	0	6,000	5,900	4,300	16,200			
実績	事業費	0	6,000	5,714	-	11,714				
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0		0			
		市の債	0	0	0		0			
		その他	0	0	0		0			
		一般財源	0	6,000	5,714		11,714			
事業費の進捗率		(H19実績+H20実績+H21実績+H22予算事業費) / (計画事業費)				106.8%				
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)										
《全体》										
[19年度]										
[20年度]										
[21年度]										
[22年度]										